

企業研究

vol.077

プロラボテック

(東京都千代田区)

松田 俊介 社長(43)



2019年6月に設立したプロラボテック(東京都千代田区)は、入居募集管理システム『Go Web!』(「Goウェブ」)を開発、販売している。仲介会社とのやり取りをオンラインで一元化するシステムで、本格的に販売を開始してから2年ほどで、30社以上の管理会社が導入を進めている。来春には、『Go Web!』と連携したオーナー向けアプリを販売。「賃貸管理会社の業務効率化に貢献したい」と語る松田俊介社長に取材した。

繁忙期1日600件の電話が6分の1に減少

「Go Web!」を導入する賃貸管理会社が増えています。が、どういった機能が決め手になったのでしょうか。

管理会社の電話対応を減らすことができる点が決め手になっています。同システムは管理物件の空室状況を仲介会社がりアルタイムで確認できる機能を軸に、詳細な募集条件の閲覧、マインクと呼ばれる物件資料や写真のダウンロード、オンライン申込み、保証会社が審査

2年で30社導入の入居募集管理システム

するための顧客情報の連携などを行うことができます。管理戸数が増えることで、仲介会社の電話対応に追われてしまう管理会社の業務改善を目的に開発しました。もともとGood不動産(福岡市)からの依頼で受託開発したのですが、ほかの管理会社にとっても業務効率化に

つながらず、販売を始めました。現在、ホットハウス(北海道札幌市)、高知ハウス(高知市)、日本管理センター(東京都千代田区)などに使用してもらっています。Good不動産では、繁忙期に1日600件あった、仲介会社からの電話が100件程度に減少しました。この実績が、ほかの管理会社にとって説得材料になっています。

現在、タン「ネット(東京都分市市)の賃貸管理システム『賃貸名人』と連携を進めています。

「Go Web!」には、電話だけでなくFAXをなくす役割があります。システム上で得た入居者情報をワンクリックで家賃保証会社に提供し審査を進めたり、保険会社への申し込みに連動させています。これまで仲介会社からのFAXを転送し、

文字が読めなかったり、記入漏れがあったり、不備の対応をしていたかと思うのですが、こうした業務が一切なくなるのです。ほかに、ポータルサイトへの一括入稿を手掛ける『不動3之助』、電子契約の『ドキュサイン』や、自動音声対応の『スマート物産』なども連携しており、導入する管理会社の必要に応じてシステム連携を構築しています。

「Go Web!」導入後の運用をサポートするM&Mのコールセンター。管理会社の休日に、仲介会社が忙しなくなるのが可能。申し込みがわたり、不備の対応をしなければならず、必要に応じてカスタマイズすることが可能です。

文字が読めなかったり、記入漏れがあったり、不備の対応をしなければならず、必要に応じてカスタマイズすることが可能です。

会社概要

社名：プロラボテック
住所：東京都千代田区内幸町1-3-1
設立：2019年6月
資本金：5300万円(グループ・資本準備金含む)
事業内容：不動産会社向けシステム開発
従業員数：約20人

会社メモ

コールセンターや保証・審査事業、オートロック遠隔解除システム等のIoT販売事業を手掛けるM&Mの子会社として2019年6月に設立。2年ほどまえから入居募集管理システム『Go Web!』を管理会社向けに販売を開始。来春にはオーナーアプリをリリース予定で、現在試験運用をしている。

社長メモ

松田俊介社長

1976年12月3日生まれ、福岡市出身。M&M、プロラボテックに加え、太陽光発電事業のリエゾン、インターネット通信事業のリネットの社長を兼任している。



「Go Web!」導入後の運用をサポートするM&Mのコールセンター。管理会社の休日に、仲介会社が忙しなくなるのが可能。申し込みがわたり、不備の対応をしなければならず、必要に応じてカスタマイズすることが可能です。

来春オーナーアプリ発売 タイムリーに情報を共有

「親も子もも人として成長できる場になりたい」と語る松田俊介社長は、10年ほど前から地域のソフトボールチームの代表を務めている。子どもが入団したチームの監督が代表を兼任し練習から運営まで一人でこなす姿を見て、大変だろと引き受けたのがきっかけだ。練習場所を確保するため自治体や公民館に交渉したり、地域清掃への参加や係を担当する

上が対象で、16人が加入している。教え子には甲子園に出場した球児もいるという。大人になると野球をする機会が少なくなってしまうが、何歳になっても野球が続けられるように育成をしたい」と松田社長は語る。

ソフトボールチームを運営

「親も子もも人として成長できる場になりたい」と語る松田俊介社長は、10年ほど前から地域のソフトボールチームの代表を務めている。子どもが入団したチームの監督が代表を兼任し練習から運営まで一人でこなす姿を見て、大変だろと引き受けたのがきっかけだ。練習場所を確保するため自治体や公民館に交渉したり、地域清掃への参加や係を担当する



▲ソフトボールチーム「東夜クラブ」の子どもたちに囲まれた松田社長

「親も子もも人として成長できる場になりたい」と語る松田俊介社長は、10年ほど前から地域のソフトボールチームの代表を務めている。子どもが入団したチームの監督が代表を兼任し練習から運営まで一人でこなす姿を見て、大変だろと引き受けたのがきっかけだ。練習場所を確保するため自治体や公民館に交渉したり、地域清掃への参加や係を担当する